

市の財政状況について

市民の皆さんに市の財政状況をご理解いただくために、令和7年度上半期(4月～9月末)における予算の執行状況と令和6年度決算に係る財政健全化判断比率等をお知らせします。

1. 令和7年度上半期予算の執行状況

【一般会計】

令和7年度一般会計予算は当初予算額 263 億 9000 万円から令和7年9月までに3億 6870 万円の増額補正を行い、267 億 5870 万円となりました。なお、前年度繰越額 26 億 688 万円を含めた総額で 293 億 6558 万円となりました。

上半期における歳入の収入済額は 133 億 1212 万円で収入率は 45.3%、歳出の支出済額は 119 億 4030 万円で執行率は 40.7%となっています。

●歳入

区 分	予算現額	収入済額	収入率(%)
市 税	57億4573万円	35億9539万円	62.6
分担金・負担金など(※1)	6億8743万円	2億3757万円	34.6
繰越金・繰入金	32億8063万円	16億2880万円	49.6
諸 収 入	13億6303万円	2億7810万円	20.4
地 方 交 付 税	73億5000万円	52億2005万円	71.0
国庫支出金・県支出金	54億6506万円	13億9537万円	25.5
市 債	35億6960万円	0万円	0.0
そ の 他 (※2)	19億 410万円	9億5684万円	50.3
歳入合計	293億6558万円	133億1212万円	45.3

※1 分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金

※2 地方譲与税、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金 など

※3 公債費、災害復旧費、諸支出金、予備費

※4 表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

●歳出

区 分	予算現額	支出済額	執行率(%)
議 会 費	1億9126万円	9727万円	50.9
総 務 費	39億7390万円	15億 997万円	38.0
民 生 費	83億8121万円	35億7426万円	42.6
衛 生 費	25億9559万円	12億 410万円	46.4
農 林 水 産 業 費	15億8360万円	4億4560万円	28.1
商 工 費	4億4950万円	1億7921万円	39.9
土 木 費	17億9720万円	2億9324万円	16.3
消 防 費	13億 492万円	5億4153万円	41.5
教 育 費	66億 310万円	28億8269万円	43.7
そ の 他 (※3)	24億8530万円	12億1243万円	48.8
歳出合計	293億6558万円	119億4030万円	40.7

【特別会計】

特別会計名	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
国民健康保険特別会計(事業勘定)	62億7200万円	25億1191万円	40.0	23億8173万円	38.0
国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)	7920万円	3482万円	44.0	2928万円	37.0
後期高齢者医療特別会計	7億7650万円	3億2168万円	41.4	1億6805万円	21.6
介護保険特別会計	53億8216万円	26億7704万円	49.7	21億9268万円	40.7
地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理特別会計	15億1200万円	5億3249万円	35.2	5億3249万円	35.2

【企業会計】

企業会計名		収入			支出		
		予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
水道事業会計	収益的	3億5934万円	1億 309万円	28.7	3億5394万円	1億4821万円	41.9
	資本的	1033万円	657万円	63.6	2億7977万円	1億4733万円	52.7
農業集落排水事業会計	収益的	3億4053万円	2億1617万円	63.5	3億4053万円	1億9318万円	56.7
	資本的	1億8339万円	1億7312万円	94.4	1億8339万円	8724万円	47.6

※企業会計の執行済額はそれぞれ調定額・支出負担行為額となります。

2. 令和6年度決算に係る財政健全化判断比率および資金不足比率

【財政健全化判断比率】

山武市の財政状況は健全段階にあります。全ての指標で国の定める基準を下回っており、良好な状態にあります。

(単位:%)

区分	山武市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率(※5)	—	12.80	20.00
連結実質赤字比率(※6)	—	17.80	30.00
実質公債費比率(※7)	7.1	25.0	35.0
将来負担比率(※8)	—	350.0	—

◎実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字がなく、将来負担比率は算出値がマイナスのため「—」で表示しています。

※5 普通会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率

※6 全ての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率

※7 借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率

※8 市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率

【資金不足比率(※9)】

山武市は全ての公営企業で資金不足はなく、財政の健全性を保っています。

(単位:%)

会計名	山武市の比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
農業集落排水事業会計	—	20.0

◎いずれの会計も資金不足が生じていないため、「—」で表示しています。

※9 企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率